



京大生 インテリア白書

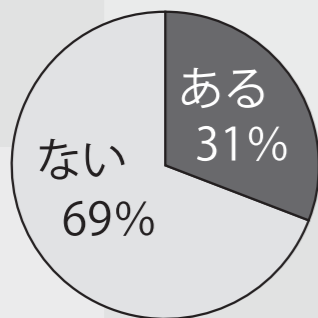


他人の部屋に入るのってちょっとワクワクする。インテリアにはその部屋の主の人となり自然と出るもの——。

本稿は、4月号読者カードにて読者の皆さんに協力していただいたアンケート結果を元に、京大に生きる学生のインテリアへの意識を調査するものであります。本稿が皆さんの今後のお部屋での生活へ示唆を与えると同時に、他人のインテリアへの知的好奇心を満たすことを切に願います。
(ふえい)

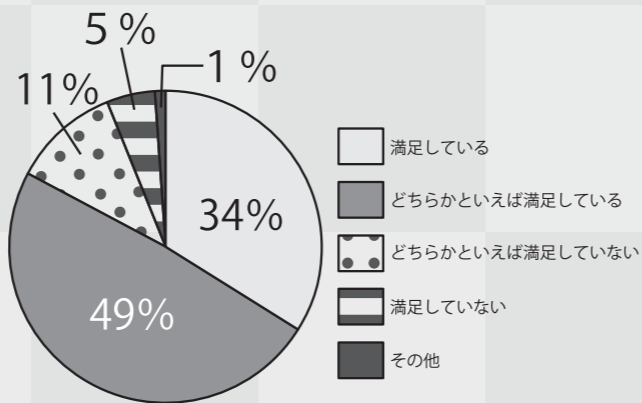
問1. 自室のインテリアへのこだわりの有無

※自宅生の場合は実家の自室



インテリアにこだわりは「ない」という回答数が、「ある」の回答数を大きく上回る結果に。こだわろうとすると費用がかさむという意見が多かった一方、部屋にいる時の気分を左右するインテリアにはこだわりたいという意見も一定数ありました。

問2. 自室のインテリアへの満足度



「満足している」「どちらかという満足している」との回答が大部分を占めていることからわかるように、京大生の大部分は満ち足りたお部屋ライフを送っているようで何よりですね。
しかし中には、「そのような概念がない」という回答も。

問3. 自室のインテリアで大切にしていること

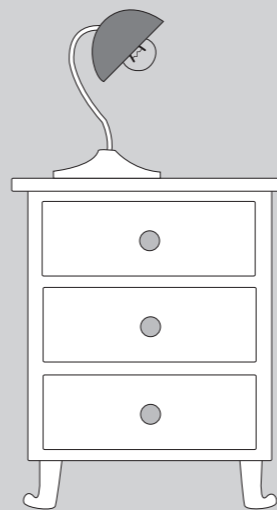


機能性を重視する声が大変多く、合理主義的な京大生の一面が垣間見える結果となりました。逆に、「他人の目」を気にするとの回答が極端に少なかったことも、自分の道を貫きとおす京大生らしさを反映していると言えるのではないのでしょうか。
「見えないものが一番大事」といった哲学の領域に踏み込むかのような鋭い意見には、はっとさせられますね。

問4. 自室のインテリアのテーマ

- ・シンプル・イズ・ベスト
- ・北欧風
- ・アンティーク調
- ・清潔感
- ・可変式住居
- ・金欠大学生
- ・部屋全体がゴミ箱

特に多かったのは「シンプル」という回答。きっと皆さん、足るを知っているのでしょうね。「北欧風」「アンティーク調」などの、おしゃれな空間を予想させる回答もあれば、「金欠大学生」などの自分の現状をテーマとしてしまう、たくましい回答もありました。
それにしても「可変式住居」とは一体……。



問5. 気に入っているインテリアアイテム

- ・間接照明
- ・人をダメにするソファ
- ・ドライフラワー
- ・はにわ (自作)
- ・フラーレンの分子模型
- ・49インチの4Kテレビ
- ・手ぬぐいをポスター代わりに壁にはっている
- ・段ボールでつくったコースター

「はにわ」「分子模型」などはアカデミックな雰囲気すら漂い、いかにも京大生らしい回答。手ぬぐいをポスターに見立てたり、段ボールを活用したり、限られた予算の中で工夫してアイテムを揃えているようです。

問6. インテリアを楽しむために意識していること

- ・こまめに掃除をする
- ・いらぬ物は買わない
- ・部屋の雰囲気が暗くならないように、明るめの色のものを購入するようにしている
- ・お金をためる
- ・欲しい物はすぐ買う
- ・何もなくても居心地がいいのでないです
- ・インテリア？ 何それおいしいの？

多かったのは「掃除をする」「ものを増やさない」といった回答。やはり、片付いた部屋にしておくという基礎が重要なのでしょう。
とはいえ、何もせずとも自室の居心地は良いという意見にも頷けるものがあったり。

いかがだったでしょうか。自分のカラーを前面に押し出した、京大生のお部屋のインテリア事情を少しでも垣間見られたことと思います。生活空間のインテリアを考えることは、「生きること」をデザインすること。こだわりぬくもよし、無為自然を旨とするもよし。限られた時間である大学生活を、満足のいくインテリアと共に楽しめることを祈念いたします。